

令和4年度生徒指導サポート実践校「特別活動の取組事例」

学校名	廿日市市立大野東中学校	校長	田浦 由紀夫	生徒指導主事	中次 伸彦
-----	-------------	----	--------	--------	-------

取組事例名 『みんなでつくる生命尊重～いじめ撲滅を目指して～』

取組における育てたい資質・能力

人間関係形成		社会参画		自己実現	
自己有用感	2	協働性・表現力	3	道徳的实践力	1

取組のねらい

命の大切さや尊さを十分に理解し、自分も相手も大切にできるよう考え、深め、実践できるように心を育てていく。また、各々が「いじめをしない」「相手の良いところを認める」ことができるよう、主となる特別活動を通して、集団としての実践意欲を育てる。

取組の具体的内容	取組の創意工夫 『キーワード：思いを形に』
----------	--------------------------

『命の大切さについて考える取組』（5月）
 全学級において、いじめに関する道徳の授業を行い、「私の行動宣言」を記入し、全校生徒の記述を校内に掲示した。また、朝の会において、学校長が放送講話を行い、給食時間では、生徒会が命の大切さに関するメッセージを放送で伝えた。



【ウクライナへの募金活動】
 生徒会執行部の「平和について考える以上、現在起こっているウクライナの出来事を避けて通れない。私たちにできることをしよう。」という思いを形にして支援募金活動を行った。



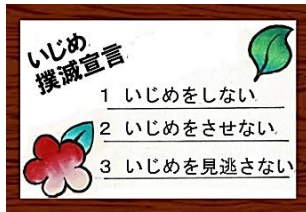
『平和について考える取組』（9月）
 ウクライナ情勢について知り、実際に教員がウクライナの中学生演奏家にインタビューした動画を通して、平和の在り方について考えた。また、給食時間に平和に関する歌を流したり、ウクライナの被害状況写真を校内に展示したりした。



【命の木】
 各取組において、大切なキーワードや行動宣言を実や花に記入して校内掲示している。今年は一人一人が色を塗ったピースを合わせ、全校生徒で命の木を作成した。



『いじめ防止について考える取組』（12月）
 全学級において、いじめに関する道徳の授業を行った。実際に中学生が書いた人権作文を題材にした動画を通して、いじめ防止のために自分にできることを考えた。また、給食時間に生徒会からいじめ防止についての放送を行った。



取組の成果と課題

- 取組後に実施したアンケートにおいて、「困っているときに、自分から協力や助けを頼むことができる（内面共有性）」に肯定的回答をした生徒が88%となり、1学期に比べ3%上昇した。また、「努力すれば、たいていのことはできると思う（自己効力感）」に肯定的回答をした生徒が87%となり同比5%上昇した。
- 新型コロナウイルス感染防止対策のため、異学年交流や全校での集会等ができなかった。できる取り組みを工夫して行っているが、できる限り生徒が主体的・協働的に取り組めるよう考えていきたい。